

真夏の青空に大歓声と応援が舞う

東京六大学野球の精鋭が水戸に集結



東京六大学野球 ALL STAR GAME 2025 オールスター戦 in 茨城

東京六大学野球連盟 結成100周年記念



ROSE DREAMS VS

PLUM WINGS



2025 8/23 SAT [試合開始] 14:30

2025 8/24 SUN [野球教室] 9:30

会場 ノーブルホームスタジアム水戸 水戸市見川町2256

東京六大学野球オールスター戦とは

早稲田大学・慶應義塾大学・明治大学・法政大学・立教大学・東京大学の東京六大学野球連盟による、春の東京六大学野球リーグ戦の結果をもとに2チームに分かれて試合を行います。

[雨天順延] ※荒天の場合は24日に順延となります。詳しくはHPをご覧ください。

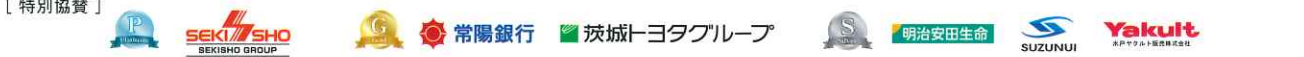
入場料金 高校生以下無料 (一般内野席1塁側・3塁側・外野席は全席自由) [一般] 前売り2,000円 当日2,500円 ※特別内野席(バックネット裏席)の販売はございません。

前売りチケット販売 チケットぴあ 2025/7/10(木)~ [ポコード:863602] ※チケットに関する詳細はHPをご覧ください。



無料シャトルバス運行 JR水戸駅南口 ⇄ 会場 ケーズデンキスタジアム水戸第5駐車場 ⇄ 会場 ※時刻表などの詳細はホームページをご覧ください。

[主催] 一般財団法人東京六大学野球連盟 [主管] 東京六大学野球オールスター戦茨城大会実行委員会 [後援] 東京六大学県内OB・OG会(早稲田大学校友会茨城県支部/明治大学校友会茨城県支部/法政大学校友会茨城県校友会/茨城立教会/茨城三田会/茨城銀杏会) 茨城県/茨城県教育委員会/水戸市/水戸市教育委員会/大洗町/大洗町教育委員会/ひたちなか市/ひたちなか市教育委員会/東海村/東海村教育委員会 那珂市/那珂市教育委員会/日立市/日立市教育委員会/公益財団法人茨城県スポーツ協会/公益財団法人水戸市スポーツ振興協会/朝日新聞水戸総局 毎日新聞水戸支局/読売新聞水戸支局/茨城新聞社



※臨時駐車場: ケーズデンキスタジアム水戸第5駐車場もご利用ください。 ※球場駐車場が満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

問い合わせ 東京六大学野球オールスター戦茨城大会実行委員会 [Mail] tokyobig6@allstargame.jp [公式HP] https://allstargame.jp/



[公式HP]



東京六大学野球連盟 結成100周年記念



東京六大学野球連盟

東京六大学野球連盟は、早稲田・慶應義塾・明治・法政・東京・立教の6つの大学で構成される野球リーグです。

その歴史は100年にも及び、大正14年(1925年)9月20日の明大対立大第1回戦を連盟創設初試合として現在に至っています。明治36年(1903年)に第1回の早慶戦が挙行され、(明治39年から中断)大正3年(1914年)に早慶明の三大学によって初めてリーグ戦を組織して試合を行うようになりました。このうち大正6年(1917年)に法政、大正10年(1921年)に立教が加入しましたが早慶戦は行われない変則な状態が続いていました。しかし大正14年(1925年)、早慶明法立のリーグ戦に秋季から東大が正式に加入し、中断していた早慶戦も19年振りに復活、名実共に充実した六大学リーグ戦が開始されました。

大正15年(1926年)には本連盟の協力のもと、明治神宮野球場が完成、また秋季リーグ戦より東宮杯(摂政杯)がご下賜されました。その後昭和6年(1931年)に工事費を本連盟が負担し、同球場の拡張工事を行い5万5千人収容の大球場が完成しました。

昭和18年(1943年)第二次世界大戦の影響により文部省から試合禁止を命ぜられ、本連盟は解散することにな

りました。しかし終戦直後の昭和20年(1945年)10月28日に六大学OB戦、11月18日に明治神宮野球場で全早慶戦を挙行して、野球復興の先鞭をつけ翌21年(1946年)5月19日から1回戦総当たりながら六大学リーグ戦を復活しました。また、秋季からは、天皇杯をご下賜され栄えある最初の天皇杯は優勝校の早大に渡されました。

ところが明治神宮野球場は米軍に接收され、同球場では数試合しか行われない状態が昭和27年(1952年)3月まで続いたが3月31日に講和条約終結とともに同球場も明治神宮に返還され、六大学の春秋リーグ戦は全ての試合が同球場で挙行され、戦前と同様の形態に戻ることになりました。この間、苦難の時期に昭和25年(1950年)の秋季リーグ戦において昭和天皇、皇后両陛下が早慶戦に行幸啓されました。

その後一度の中断もなく現在も明治神宮野球場において春秋のリーグ戦と新人戦をおこなっています。また、平成の時代に入り、平成6年(1994年)春季リーグ戦において当時の天皇、皇后両陛下(現上皇、上皇后両陛下)が早慶戦に行幸啓されました。

このように本連盟は、大学最古のリーグとして大学野球のみならず、日本のアマチュア野球の発展に寄与し、



社会人野球やプロ野球の発展にも多くのOBが尽力をいたしました。現在、野球殿堂博物館の野球殿堂には、222名中119人(令和7年1月現在)の本連盟関係者が野球界に貢献したということで殿堂入りしています。

平成25年4月1日に当連盟は一般財団法人東京六大学野球連盟として法人登記をおこない、法的根拠のある団体として新たなスタートをきりました。



ROSE DREAMS ローズドリームス

PLUM WINGS プラムウィングス



WASEDA

早稲田大学野球部

1901年の創部当時から、安部磯雄初代部長の言葉である「知識は学問から、人格はスポーツから」という文武両道の精神を掲げ、大学野球の範となることを目標に、以来百余年にわたり、次代を担う若人が集い、その伝統を継承している。



Meiji

明治大学野球部

明治大学野球部は1910年に創部され、115周年を迎える現在まで人間力野球を体現してきた。選手全員が暮らす島岡寮の玄関には、「人間力」の三文字が飾られており、この伝統を引き継ぐべく選手たちは練習や共同生活を通じ、互いに人間力を高めあっている。



HOSEI

法政大学野球部

1915年に創部され、本年で110周年を迎える法政大学野球部。優勝回数はリーグ2位の46回を誇ります。本年はスローガンに「執念」を掲げ、主将の松下歩叶、副将の内山陽斗、藤森稔七丞を中心に、日々練習を重ねています。



RIKKIO

立教大学野球部

1909年に創部し、現象にとらわれず物事の本質に迫り、常に新しいものを創造していくという「自由の学府」の精神のもと活動している。今年のスローガンは『飛躍』。これまでの下位から脱却し、大きく成長を遂げるという強い決意を込めた。過去を超え、新たな高みを目指す。



KEIO

慶應義塾体育会野球部

1888年創部と六大学中最古の歴史を誇り、21年には春秋リーグ戦、大学選手権で優勝、23年秋には明治神宮大会優勝を達成。今年は主将の外丸東真(前橋育英高)を中心に高い攻撃力と投手力を要し3季ぶりの優勝を目指す。



TOKYUO

東京大学野球部

東大野球部は高いレベルで文武両道を実現し、100年間他5大学に挑戦し続けてきた。学生主体の組織であり、各役員がやりたいことに取り組める環境である。本年度は「逆襲」をスローガンに掲げ、勝ち点獲得を目指している。

